

第 219 回
定例探鳥会

日時：2005 年 5 月 8 日 (日) 天候：晴れ

コース：高来神社 高麗山 八俣山 浅間山

ゴールデンウィークの最終日。空は気持ちよく晴れ渡り、高麗山の新緑がとても美しく見えます。気温は寒くも暑くもなく、絶好のバードウォッチング日和です。集合時間前、高麗山の西の方からキビタキのさえずりが聞こえてきました。こちらも集合時間前、大型のタカが上空を舞いながら東の方へ飛び去りました。下面と首の部分が真っ白で翼の先端が黒色でしたが、種類は特定できませんでした。

歩き始めてすぐにセンダイムシクイの声が聞こえてきました。斜面の上の方からで姿は見えません。アカハラも遠くから聞こえてきました。ヤマガラ2羽が忙しそうに枝移りしているのが見えます。1羽は口に何かをくわえています。巣材でしょうか？男坂との合流点までくると、木の中ほどにとまっているオオルリのが見つかりました。急な坂の途中ですが、非常に苦しい体勢で望遠鏡にとらえることができました。ジッとしているのでほとんどの方が黒っぽく見える中に白いお腹を確認することができました。大堂の下のアオバズクポイントではキビタキのをみつけました。ほとんど真上の木の中を動き回るので望遠鏡に入れるのは難しいのですが、双眼鏡ではハッキリと見ることができました。移動しながら鳴くので、きれいなさえずりを楽しめました。八俣山ではヤマガラの幼鳥が羽を振るわせて餌をねだっていました。親鳥が大きな青虫を与えましたが、大きすぎるためか口からはみ出していました。そのままどこかへ飛んでいってしまいました。上空をアマツバメが舞っていました。浅間山で鳥合わせしましたが、今日はオオルリ、キビタキに出逢え、十分に満足できました。解散後の地獄沢で、ウグイスのさえずりが聞かれました。

参加者

参加人数 39 名 (敬称略)

- | | | | | |
|-----------|-------------|------------|------------|------------|
| 1. 戸倉 美恵子 | 2. 下倉 統一 | 3. 山田 文則 | 4. 瀬尾 隆 | 5. 福田 修子 |
| 6. 沖 勳 | 7. 鈴木 紀子 | 8. 柴田 美代子 | 9. 多田 敏志 | 10. 窪田 せつ子 |
| 11. 佐藤 千歳 | 12. 平塚 津矢子 | 13. 八木 正 | 14. 白井 弘恭 | 15. 洞澤 健 |
| 16. 松井 慎吾 | 17. 鈴木 逸子 | 18. 森田 義雄 | 19. 大友 暁 | 20. 室野 義晴 |
| 21. 吉尾 孝 | 22. 伊東 武雄 | 23. 木田 ハマ | 24. 小野 肇 | 25. 片倉 暹 |
| 26. 吉田 宣子 | 27. 富田 和之 | 28. 関谷 育雄 | 29. 関谷 昂 | 30. 大坂 英樹 |
| 31. 松下 弓子 | 32. 大谷 秋代 | 33. 武末 範子 | 34. 小谷 茂雄 | 35. 中村豪夫 |
| 36.(田端 裕) | 37.(内山 規矩雄) | 38.(金子 典芳) | 39.(岩佐 昌夫) | |

見聞きした鳥

種類数 26 種 (sp を含む)

- | | | | | |
|----------|------------|--------------|-------------|-----------|
| 1. トビ | 2. タカ sp | 3. コジュケイ | 4. キジバト | 5. ドバト |
| 6. アマツバメ | 7. コゲラ | 8. アオゲラ | 9. ツバメ | 10. イワツバメ |
| 11. ヒヨドリ | 12. アカハラ | 13. センダイムシクイ | 14. キビタキ | 15. オオルリ |
| 16. エナガ | 17. シジュウカラ | 18. ヤマガラ | 19. メジロ | 20. イカル |
| 21. スズメ | 22. ムクドリ | 23. ハシボソガラス | 24. ハシブトガラス | 25. ガビチョウ |

ウグイス(解散後)

照ヶ崎連続アオバト観察会スタート！

昨年に引き続き、今年も5月から9月までの最終日曜日に、照ヶ崎海岸での連続アオバト観察会を行うことになりました。今年の第1回が5月29日に行われ、早朝の6時頃から多くの方が訪れてくれました。8時30分頃には金子さんが懇切丁寧な説明をして、参加の皆さんに喜んでいただけました。こまたんメンバーA先生の小学2年生の教え子も多数が父兄と一緒に参加し、一生懸命に望遠鏡を覗いて観察していました。その中から二人の子ども達が日記を書いたので、みなさんに紹介します。

アオバト (Sさん)

今日、私ははじめてアオバトを見ました。アオバトの体はみどり色をしていて、とてもきれいでした。アオバトは海の水をのみます。そして、にしの方に移動するとドングリをたべているそうです。私はメスよりオスの方がきれいだと思います。なぜかという、メスはみどり色ですが、オスはつばさのぶ分があずき色をしていました。海にいるハトなんてどんなハトだろうと思っていましたが、考えていたよりもずっときれいなハトでした。先生のぼうえんきょうは、とてもよく見えて、まほうのぼうえんきょうみたいでした。ふつうに見ていると何もいないのに、先生のぼうえんきょうをのぞくと、いろんなとりが海の上にたくさん見えました。私はとりのことも、アオバトのことも、もっと知りたくなりました。

アオバトを見ました (Mさん)

今日、A先生と、うみにアオバトを見に行きました。はじめはアオバトは木にいましたが、つぎつぎにうみにおりてきました。先生に、アオバトがうみの水をのんでいるところを見せてもらいました。アオバトのくちばしは、きれいな水色でした。アオバトのはねはみどり色で、とてもきれいだなあと思いました。「アオバトのオスは、あずき色のはねのところがあるんだよ」とA先生がおしえてくれました。わたしは、アオバトのオスとメスがわかるようになり、うれしくなりました。また、アオバトのフンを見せてもらいました。フンの中には、たねがありました。私は、とてもおどろきました。「たねをおうちにうえたら、みになって、アオバトがくるかもしれないよ」といわれました。鳥のフンがついていたので、きたないからうめたくないと思いました。私はまたアオバトを見にいきたいなあと思いました。それから、先生、アオバトの絵のおみやげ、どうもありがとうございました。私はとてもうれしかったです。

花水川にコムクドリの群れが飛来

4月22日頃から花水川でコムクドリが見られるようになりました。最初の記録は4月22日の5羽で、平塚大橋の少し下流のクルマの木にとまっていた。その記録をまとめると、次の表のとおりになります。

4/22	4/23	4/30	5/3	5/5	5/7	5/19	5/20	5/21
5(1 1)	20(18 2) + 43(35 8)	25	60	44	60+	12	22	12 (終認)

平塚や大磯でもたまに見られることはありますが、こんなに多数が飛来したことはありません。20世紀神奈川の鳥～神奈川県鳥類目録（日本野鳥の会神奈川支部）には次のように説明されています。『隣接する山梨県山中湖周辺には夏鳥として渡来し、繁殖しているが、本県では繁殖記録はなく、春秋の渡りの時期に河川の中流域、低山の林などで見られる。キュルキュルなどと鳴き、木の実、昆虫などを餌としている。小さな群れか少数がムクドリの群中に入ることが多いが、1999年の秋には、港北区大豆戸町、大井町金手で100～200羽の集団が観察された。』今回の記録も渡り途中の飛来とと思われますが、今年に限っての現象なのか確認してみたいと思います。



ひらつか環境展

平塚市の環境政策課からお誘いがあり、昨年を引き続いて「ひらつか環境展」にこまたんも出展しました。今年のこまたんのテーマは「平塚市の鳥～シラサギ」です。山田さんが中心となって2004年1月から、平塚大橋下流の時に夕方に入るサギの種類と数を調査していますが(現在も継続中です)、この記録をグラフにして時季による数の変動や、特に数が多くなる7月から11月についてはサギの種類ごとの変化を分かりやすく表しています。また、平塚で見ることができるサギ類の中から6種(コサギ、チュウサギ、ダイサギ、アマサギ、アオサギ、ゴイサギ)の姿を、金子さんが得意のデジスコで撮った多数の写真を展示しています。



こまたん以外にも、里山をよみがえらせる会、平塚の自然を守る会、地球っ子広場、丹沢山塊の自然を考える会、平塚市ごみ減量化婦人の会、平塚市環境事業センター、平塚市資源循環課・環境保全課・環境政策課・環境業務課が出展しています。

期間、場所、時間は次のとおりです。ぜひご覧になられて、感想をお聞かせください。

- ・ 期間：6月1日(水)～15日(水)
- ・ 時間：9:00～17:00
- ・ 場所：平塚市リサイクルプラザ(愛称 くるりん) 平塚市四ノ宮 7-3-5

【お知らせ】

照ヶ崎連続アオバト観察会

今年も5月から9月までの最終日曜日に、照ヶ崎連続アオバト観察会を行います。

早朝の海岸で岩礁の上を群れで飛んだり、岩場に降りて吸水する様子を観察しましょう。

開催日：5月29日、6月26日、7月31日(アオバトの日)、8月28日、9月25日

場所：大磯町照ヶ崎海岸。JR大磯駅で下車して海岸に向かい、照ヶ崎プールの西側の堤防を登ればすぐ眼下です。駅から徒歩10分ほどです。バスの場合は、「さざれ石」で下車し、徒歩約5分です。

時間：午前6時から9時頃まで(都合のよい時間においでください)

持ち物：特に必要なものはありませんが、帽子と水分の準備をお勧めします

定例カウント調査

吉沢 & 土屋 7月2日(第1土曜日)

鷹取山 7月9日(第2土曜日)

午前6時に高麗ハイツとなりの駐車場(青空市場)に集合、車で移動します。または6時15分までに、第1土曜日は松岩寺駐車場、第2土曜日は東の池に直接来られても結構です。

いずれも時間が来れば出発してしまいますので、時間厳守をお願いします。午前中に解散。

雨天中止。

問い合わせ・連絡先

岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥 報

こまたんメンバーのフィールドでの観察記録から主なものをご紹介します。

アオバト情報

照ヶ崎への飛来状況

日付	観察時間		天気	飛来回数	飛 来 数		備 考
	開始	終了			総数	瞬間最大	
4/30	5:00	10:30		7	18	5	こまたんメンバーによる初認は4月30日です。 5/29にアオバトのお泊まり調査が行われた。
5/4	4:45	10:00		6	19	8	
5/5	6:15	8:45		4	19	6	
5/15	4:50	9:10		12	72	11	
5/22	4:00	10:20		22	307	33	
5/28	4:15	9:30		39	787	65	
6/5	4:00	9:00		44	1033	100+	

その他の場所での観察記録：吉沢・鷹取山・土屋・山北では多くの声、姿が記録されている

三頭山(奥多摩)...標高1000~1300位で鳴いている 白馬村(長野県)...飛翔が記録されている
大倉尾根...5/14、2 1羽が飛んでいた

花水川・平塚大橋のサギねぐら調査

観察日	天気	コサギ	ダイサギ	アオサギ	ゴイサギ	サギ合計	ムクドリ
5/8		8	0	0	0	8	約300
5/23		10	0	0	0	10	?
5/27		12	0	0	0	12	約150
6/1		13	1	0	0	14	約400
6/3		17	0	0	0	17	約300

その他の野鳥情報

トラツグミ：4/30 山北、「ヒー」という声を聞いた

コサメビタキ：5/4 吉沢、吉沢の池付近で1羽を確認

カンムリカイツブリ：5/7 渋田川、2羽が水面を移動していた

ササゴイ：5/7 花水川、2羽が飛来、上流の方へ飛び去った

ツツドリ：5/12 大山、声を聞いた

フクロウ：5/14 大磯、21時頃、羽白山方向から声が聞こえた

キンクロハジロ：5/15 照ヶ崎、1羽が岩場の沖に一瞬着水した後、プールに入った。金魚を採餌？

ホトトギス：5/18 山北、5/19 鷹取山、5/20 平塚市富士見町、5/21 八俣山、その後各地で記録

カッコウ：5/23 土屋、声を聞いた。5/26 鷹取山、6/1 日之宮山、これらの地区では初記録

カルガモ：5/28 照ヶ崎、2羽が西の海上から飛来し、岩場から50m位沖に着水

ミソサザイ：5/28 山北、目の前の崖から飛び立ったので確認すると青い細かな苔で作られた巣があった

次回の定例探鳥会は2005年7月10日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第220号 / 6月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142

こまたんホームページアドレス <http://www.komatan.jp/>

日本野鳥の会神奈川支部ホームページ <http://www.mmjp.or.jp/wbsj-k/>